長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ14

6月 今日の一言

大人みんなで子どもの心を育てよう！

ココロねっこ

４．６．３０　　校長　渕上　卓也

学校は、「風土」を培うところ

明日から７月ですね。「え、もう７月？」という感じです。本当にあっという間でした。それだけ渕上の滑石小学校のスタートが、充実していたということです。みんな笑顔で夏休みに突入できるように、一学期のまとめをしっかり頑張ります。

さて、毎年７月１日には、このことを思い出します。忘れることはでません。２００３年７月１日に、長崎市において大変痛ましい事件が起こったことです。この頃立て続けに子どもに関わるショッキングな出来事がありましたので、教師として、大人として、苦悩していたことは言うまでもありません。

「学校も家庭も地域も協力して、子どもの心を大人みんなで育てていこう！！」危機感の中で、そんな機運が高まりました。先週実施した「心を見つめる教育週間」もその取組の一つです。

今日は、学校・家庭・地域の連携・協働において、私がずっと大切にしている「横浜市の学校支援に取り組まれている地域コーディネーターの方のお言葉」をご紹介します。

学校は、「風土」を培うところです。
先生方は「風」です。先生方はこの地域に新しい風を吹き込んでくれます。そして一定の時間の中で入れ替わっていきます。
私たち地域住民は「土」です。ここにずっと変わらず存在して、「子どもや学校のために、栄養分豊かな土を保っていかなければならない。」と、思っています。

「風」と「土」それぞれがあって、この滑石の「風土」が醸成されていくのですね。豊かな心を育み、「この町、この学校で過ごしてよかった。」と、子どもたちが思える滑石小校区で、これからも在り続けたいです。笑顔いっぱい！！優しさいっぱい！！元気いっぱい！！あいさついっぱい！！の滑石小校区＼(^o^)／

＜今日の一句＞
「風」と「土」
力を合わせ
子育てを　卓也